

西サンタ 「えーとまずは・・・、ビーズに帽子、それからバラの花束！」
木 「任せて任せて！うううん、うううん、ポンッ！」
北サンタ 「それから… 白いセーター、赤い手袋、暖かいマフラー…」
木 「はい。 はい。 はい。」
南サンタ 「こっちは… お花のレイ、水色のタンクトップ、日除けの麦藁帽子…」
木 「はい。 はい。 はい。」
東サンタ 「(申し訳なさそうに)こっちは… PSP、グランドピアノ…
オバマのネクタイ…」
天使1 「ピアノはくつしたに入らない～」
天使2 「なにになに、アイパッド、現金、」
天使3 「カレシ、ただしイケメン」
悪魔 「東の国の子どもたちが欲しがるとはどんどん高価になってくねえ(焦り)」
北サンタ 「これが続くなら、いくらプレゼント製造木があったって、
我らは破産するんじゃないか?!」
南サンタ 「(木に向かって) 苦労しますねえ～」
木 「はい・・・(焦る)」
西サンタ 「本、リボン、お人形、それから… えっ?!・・・」
南サンタ 「ん? どうしたの? (手紙をのぞきこみ、)どれどれ…
お母さん? 兄妹?? 何コレ??？」
西サンタ 「この子たちはねえ… 戦争で親や兄妹を殺されてしまったの…」
北サンタ 「かわいそうに・・・この子たちには何をプレゼントしたら
喜んでもらえるか・・・」